



早春の暖かさを感じる時期です。学校では卒業式に向けて、あわただしい毎日をお過ごしのことと思います。今年度も遠足や社会見学、体験学習などで多くの学校にご利用いただきました。博物館は、3月4日にリニューアルオープンし、より一層、子どもたちの好奇心を高める場となります。スタッフ一同、新しくなった博物館で皆様のご来館を心よりお待ちしております。

## 開館20周年記念 春の特別展 「世界の野生ネコ科展」

【開催期間】令和5年3月4日(土)～5月7日(日)

「しなやかに美しくそして最強！」

完全に肉食化し生態系の頂点にいるネコ科にスポットをあて、その身体の特徴や特性を剥製や骨格標本、映像などを通して紹介します。イリオモテヤマネコとツシマヤマネコの生態調査を体験することもできます。

スミロドンの全身骨格レプリカ

ユキヒョウ

ベンガルヤマネコ

トラ

見に来てね!!



スナネコ



### 常設展のみ

	一般	団体
大人	600円	480円
高・大生	360円	280円
小・中生	240円	190円

### 特別展のみ

	一般	団体
大人	700円	560円
高・大生	500円	400円
小・中生	400円	320円

### セット券(常設展+特別展)

	一般	団体
大人	1100円	900円
高・大生	800円	700円
小・中生	600円	500円

※ 団体は30名以上のお一人様料金です。

## 先生、ちょっと聞いて! 「教員のための博物館研修」を開催!

期日: 令和5年

7月26日(水)【中学校理科】

8月2日(水)【小学校歴史系】

8月4日(金)【小学校自然史系】

内容: プログラム体験、展示物観覧、教材研究

バックヤードツアー、KGG・スペース LABO 体験等

まもなく学校へ詳細をお知らせします。お申し込みはQRコードから電子申請となります。



昨年の研修の様子

# ミュージアムのタネ



仏師ってすごいね!

## 東大寺南大門の金剛力士像と慶派の仏師

大仏さまで有名な奈良・東大寺の正門にあたる南大門には、口を開く阿形、閉じる吽形からなる一対の金剛力士像が安置されています。高さは約8.4mもあり、緻密で力強い作風で国宝に指定されています。

治承4年(1180)、平清盛の子、重衡は平氏に敵対する東大寺や興福寺を攻め、東大寺はこの時の兵火で多くの建物や仏像を失いました。朝廷や源頼朝は東大寺の再建を支援し、金剛力士像はこの復興事業のほぼ最終時期にあたる建仁3年(1203)に完成しました。

金剛力士像を手掛けたのは運慶・快慶をはじめとする慶派と呼ばれる仏師集団でした。運慶・快慶を中心とした仏師たちは着工からわずか69日間という早さでこの金剛力士像を完成させます。これらはそれぞれ約3000点にもおよぶ細かいパーツからなる寄木造りで作られており、その用材となる木材は北九州のお隣、山口県から運ばれたことが分かっています。現在のように電動の機械や工具もないこの時代に、一体どのようにしてこのような短期間で像を完成させたのでしょうか。驚かざるを得ません。慶派の仏師たちの力強い作風は鎌倉武士たちに好まれ、彼らは幕府に関わる仕事を多く行いました。

いのちのたび博物館には慶派の仏師が制作したと考えられる小倉南区・大興善寺の金剛力士像(複製)が展示されています。大興善寺は鎌倉時代の中ごろに創建され、当時鎌倉幕府



金剛力士像 阿形(奈良・東大寺)

の実権を握っていた執権北条時頼がかかわったといえます。慶派の優品ともいえるこのような像が北九州にあることも驚きですね。ぜひ、博物館で注目してみてください。

歴史課 学芸員 富岡優子



金剛力士像 吽形(奈良・東大寺)

画像:『日本美術全集10 運慶と快慶 鎌倉の建築・彫刻』講談社、1991年より転載